



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第53号

平成24年1月



巻 頭 言

会長 渡 辺 雄 幸



新春を迎え、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

昨年の東日本大震災において、被災されました同窓生の皆様には、心よりお見舞いを申し上げるとともに、ご支援いただきました皆様には、本当にありがとうございました。

大震災の復興もまだまだ途上でありますし、原発事故の影響は未だに全貌すらつかめていないような現状です。同窓会としては、今後とも、できうる限りの支援を続けていきたいと思っております。お気付きのことがあれば、是非ご一報いただければと存じます。

さて、期待され発足した民主党政権は足踏み状態、経済もユーロ圏の財政危機で円高は進み、景気は低迷し、先行きは不安が強まるばかりといった一年でしたが、なでしこジャンプの優勝には、久々に胸を躍らせました。

また、今年の4月の社会保険診療報酬の改定に向けて、活発な論議が行われ、受診時定額負担は見送りになったものの、結局0.004%増の改定に決まりました。その重点項目には、前回の改定と同様に、勤務医の負担軽減、救急医療の充実がありますが、勤務されている皆様にはいかがお感じになっていますでしょうか。病院もしくは開業されている皆様にとっては、なによりこれから問題になるのは、医療機関の消費税問題だろうと思います。購入する医薬品にかけられた消費税5%は、医療費非課税のため患者さんから徴収できません。従って、消費税10%になったら、すべて医療機関が負担することになります。

大学も変わりました。今まで大変お世話になっていました山内学長が退任され、新学長として別所先生が就任され、祝賀会も共催さ

せていただきました。山内前学長には、今までの感謝とお礼をこめ、今年4月に退任記念講演会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。別所新学長は、医学教育に関して中心的なお立場で活躍されており、同窓会としても以前から大変にお世話になっております。遅れている日本の医学教育の水準を、欧米諸国並みに変えていくためには、是非頑張っていただかなくてはいけないし、またそれができる先生であると確信しております。

また年末には、同窓会と学生会の委員長、幹部を含め、合同で会を開催することができました。在学生との意見交換を通して、同窓会をアピールし、同時に同窓会自体もリフレッシュしていくため、大変意義のあることだと思っています。今後も続けていきたいと考えております。

さて、昨年は青森支部、新潟支部の会に参加させていただきました。各地域における支部の活動が活発になればなるほど、同窓会全体がもっと盛り上がっていくと思います。各支部には、毎年執行部の誰かが行くように、心がけたいと思っております。

最後になりましたが、昨年の総会において、同窓会会長選挙が行われ、私がもう一期4年会長を務めることになりました。副会長以下、執行部は全員留任していただき、これからの学内外の医療情勢に対応していく所存です。まだまだ会員の皆様のご期待に十分応えられていないことばかりかと思いますが、皆様にご指導ご鞭撻をいただきながら、責務を全うしたいと思っております。今後ともよろしくご協力のほどお願い申し上げます。